

西暦 2024 年 4 月 2 日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	小児の年齢による挿管難易度の変化の検討
研究代表者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 麻酔科 橋 一也
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2022年8月15日～2023年10月31日に大阪母子医療センター手術室において麻酔科標榜医もしくは同等の経験を有する歯科麻酔科医によって気管内挿管された方
研究期間	研究実施許可後～2025年3月
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	External laryngeal manipulation (ELM) は挿管時に用手的に甲状軟骨を圧迫することで声門の視認性を高める目的で行われ小児領域でも用いられています。小児は成長によって喉頭部の解剖学的変化が起きることが知られており、年齢によって ELM を必要とする率も変化すると考えられます。これまで手術室における挿管時の喉頭の見え方を年齢別に分類 (Cormack-Lehane 分類) した海外の報告はありますが、ELM 率を報告した研究はありません。本報においては小児の年齢別 Cormack-Lehane 分類の報告も大規模なものではなく、どの年齢において麻酔導入時により注意する必要があるのかは分かっていません 本研究では、当院での電子カルテおよび麻酔記録を用いて、患児の診療録の情報 (ID、年齢、身長、体重、性別、原疾患と既往、過去の検査・手術歴、術式、麻酔方法、麻酔担当者、挿管時情報など) を後方視的に調査し検討を行います。
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	本研究では、当院での電子カルテおよび麻酔記録を用いて、患児の診療録の情報 (ID、年齢、身長、体重、性別、原疾患と既往、過去の検査・手術歴、術式、麻酔方法、麻酔担当者、挿管時情報など) を解析します。ID など個人が特定できる情報は匿名化して扱います。
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。
個人情報の開示に係る手続き	本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個

	人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 麻酔科 橋 一也 電話 0725-56-1220 (代表)